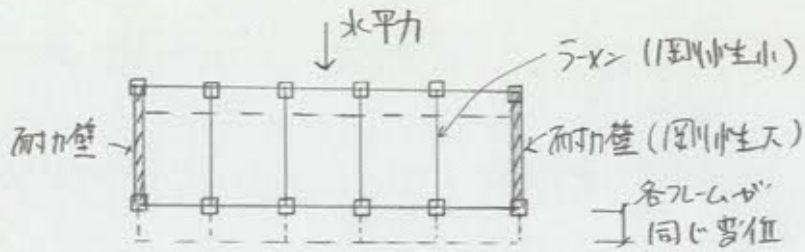


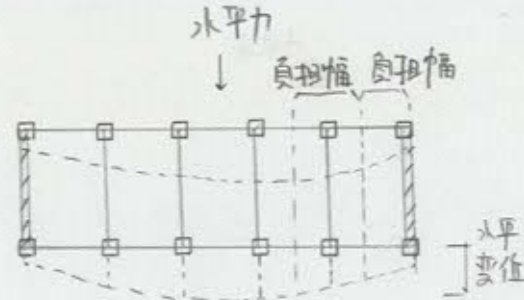
1. 細長い平面形状の耐力壁の負担せん断力



剛床仮定: 左の剛性が大きく
床が変形しないという仮定

耐力壁架構とラーメン架構の水平変位が同じ

耐力壁架構の負担せん断力①

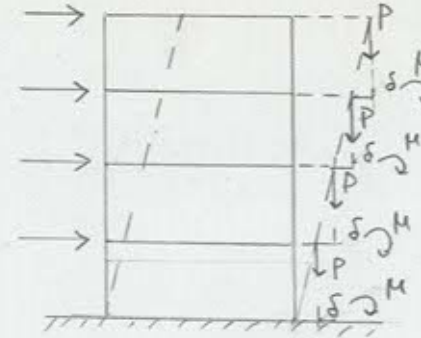


各フレームの水平変位が
同じになる

負担幅に応じた負担せん断力

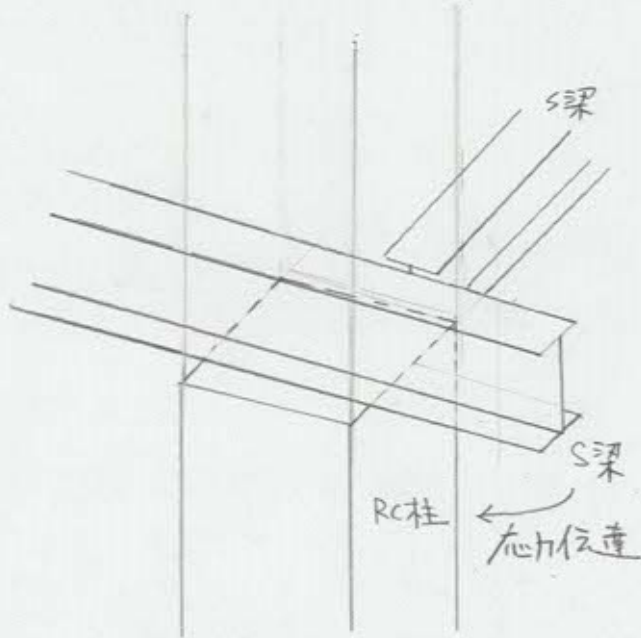
耐力壁架構の負担せん断力②

2. P-Δ効果 → 部材が水平力を受けて変形することで自分自身生じた軸力と



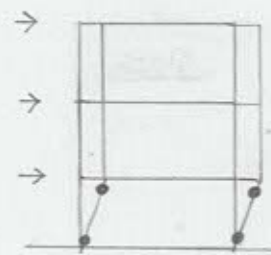
偏心量 Δ による
付加モーメントが
発生する現象

3. 異種構造の部材間における応力伝達



4. ペロティ階の層崩壊

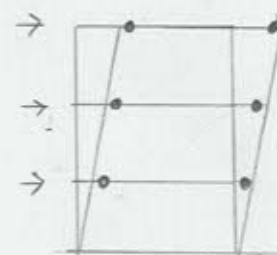
柱に塑性ヒンジが生じて、特定の層が崩壊



層崩壊

→ 塑性ヒンジになる

→ 十分な保有水平耐力を確保する



全体崩壊

→ 塑性ヒンジが少い



↓
地震エネルギーを吸収する部分
↓
塑性ヒンジが少いほど多くの
地震エネルギーを吸収できる